

第3回 嘉麻市中小企業振興審議会 会議要録

審議会の名称：第3回嘉麻市中小企業振興審議会

開催日時：令和4年3月23日（水）13時30分～14時30分

開催場所：リモート（ZOOM）

公開又は非公開の別：公開

非公開の理由：（会議を非公開とした理由）

出席者：（委員）

日高委員 大里委員 中村委員 坂本委員

益田委員 中野委員 柳瀬委員 稲永委員

（事務局）

産業振興課 課長 篠崎慶太 課長補佐 中島栄治

商工係長 仲島京子 商工係 白石莉菜

（欠席者）

澤村委員 吉安委員 大田委員 大野委員

傍聴人数：0人

議題及び協議の内容

[議 題]

1. 嘉麻市中小企業振興基本計画の取り組み状況について(答申)
2. その他

[議 事]

1. 嘉麻市中小企業振興基本計画の取り組み状況について(答申)
 - ・会長より第2回会議要録について説明。
 - (会長) 令和3年度と令和2年度の答申を比較しながら進めていく。前文に関しての変更は行っていない。
 1. 取り組み状況の点検・評価
 - これまでの取り組み結果を評価した場合、達成できていない項目が散見されたが、コロナの影響で経済活動が停滞しており活動も制限されたためこれらの影響を受けた。今回は収束後の話を足した。
 - (1) 総括的意見
 - 基本は変わっていない。アフターコロナの部分を書き足している。ロシアのウクライナ侵攻について終息の目途が見えないが、明らかに経済的に影響を与える。半導体不足・原油高の上昇は前回なかった部分である。資金繰りや従業員の雇用維持が重要な課題となっている。課題認識は一緒だが、原因がより複雑化している。
 - 引き続き指標の内容がこれで良いのかを書いている。何を何回やった・何人申請したなどの行動指標は把握しやすいが、振興計画が目標にしている最終的な姿を成果として評価する指標がない。今回作るの難しいが考えておかなければいけない。行動指標が達成されていても最終の目標状況になっているかは別の話になる。これについてしっかり考えるという事を書き込んでいる。
 - 前回とほぼ一緒だが、DXへの対応を書き足している。
 - 次期計画策定の際にSWOT分析をしっかりとやるというのを書き足している。嘉麻市の強みを引っ張り出す方法になるため。前は基本計画策定に関する記述はない。
 - 前回の審議会で議論した新しい取り組み・おもしろい取り組み・嘉麻市ならではの取り組みがあるため、それをSWOT分析で引き出そうという事でもある。そういう取り組みを積極的にPRし支援し連携を構築する。それを行う中間支援組織についても検討をするという項目を新しく追加した。
 - 人口減少があり移住定住が大きな施策になる。それを行う為の一貫した総合的な窓口がない。早急に移住定住を所管する課の新設をするべきという項目を追加した。
 - 市役所内部で中小企業振興計画をしっかり認識してほしいという項目も追加した。
 - 前回記載していた、ピンチの時こそビジネスモデルを変えるという項目は削っている。具体的に答えにくいのおもしろい取り組みを行ってほしいという項目を入れることでそれに代える。
 - (2) 個別事項に対する意見
 - 創業の促進については同じ事を書いている。所管が分かれていて非効率

的である。相談する市民もどこに行けばいいのかわかりにくいということで再度あげている。市長に渡す際強調しないといけない項目の一つでもある。

○経営基盤の安定化については一緒である。特に変更はない。

○経済循環については若干の表現の違いはあるが前回と変えていない。嘉麻市内での調達率についてルールがあるため、全部を市内で行うという事もできないし、近隣の市町村との連携もある。市内業者の育成・市内調達率向上を目標としてあげて良いと思い前回に引き続きあげている。地域課題解決のため外部企業との連携は前回の議論でも上がってきている内容。嘉麻市内の調達率をあげる一方で、嘉麻市にとって有効・有益であれば外部企業との連携を考えないといけない。

○新たな事業展開について、農業分野の技術や知恵を活用する・先進的な取り組みを実施し PR するという内容を新たに追加している。総括的意見と重複するが、より具体的に書き込んでいる項目。

○人材の確保・育成について、この項目は前回と一緒だが中身が重要。テレワークに関して市で一応取り組んでいるが進んでいないのか、どこかでとまっているため、今後は積極的に進めるようにした。移住定住の総括的な窓口の新設について 3 回ほど上がってきているがこの項目でもあげている。観光やまちづくりについて、観光振興と中小企業振興が結びついた施策をするという前回と同じ内容だがあげている。

今回の答申は令和 2 年度の答申をバージョンアップ・強化する形で作った答申案になる。

- (会長) 大里副会長、SWOT 分析を次期計画で行うことについていかがか。
- (委員) やらなければならないと思う。誰が意見をだしたり出席をするのかを考えなければならない。ウィズ・コロナの時代になってからリモートで物事を進める事が多くなっているが、光通信がどこでもある、ZOOM を自由にできる人材が揃っているなど IT 環境を進めていく環境は必要になってくる。
- (会長) DX 化の項目はあるが、もう一つ踏み込んだほうがよいか。使い方に関する研修・訓練について、新たな事業展開の促進の項目に加えるかどうか事務局と検討する。
- (委員) 機械を使いだせば便利だが、慣れるまでがリモートに入りづらい。答申については十分である。99%の計画よりも 1%の実行が大事。これを実行できれば嘉麻市は素晴らしい町になる。
- (会長) 答申を渡す際、口頭で強調する。
- (委員) 物置になっている空き家が多いため、片付けなどに手間がかかって貸せない家もある。ものの処分などの何か対策があると貸しやすくなるのでは。
- (会長) ルール作りと先進地事業の導入が必要なのではないか。
- (委員) 空き家にある中古品をメルカリなどに出品する方法があるが、高齢だと難しい。そのためどこかに集め詳しい人が行うシステムを作ってはどうか。
- (会長) 内容については別の機会で議論する。次回の計画の際に検討する。答申の中には所管を越えた連携とワンストップ窓口についてしかないため、空き家活用のルール作りについて折り込むか検討する。具体的な内容は答申をうけて市がどう考えるかもあるし、来年の計画練り直しの際に入れ込むか検討する。
- (委員) 移住定住の担当窓口の新設などの項目が今回の答申の中で繰り返し出てきているため、答申については特はない。
- (委員) 農業との関係について休耕地の活用や農業分野と連携するなどあるが、具体的に農業の事がわからないため、委員の中に農業関係の方を入れるのはどうか。農業との関わりを強くするためにいろいろな情報がほしいと思っている。
- (会長) 農業との連携、農業分野で中小企業の技術の活用や休耕地の活用など農業関

係との連携が重要なので、次回の審議会では農業関係の委員をお願いしなければならない。答申には入れづらいが次回考慮して委員選定を行うということで事務局よいか。

(事務局) 承知しました。

(委員) 答申について素晴らしい案だと思う。実行できれば素晴らしい結果が生まれる。市内の経済循環が活発になってほしいため、公共事業の発注に関しては市内事業者を使ってほしい。

(会長) 委員の方が言われるようにいかに実行できるかに尽きるかもしれない。令和2年度の答申に対してどこまで実行できているかについてはタイムラグがあるため完成していないが、計画に対してさらに答申に対してどういう対応をとっているか事務局から説明してもらった。このような形で毎年計画に対して進捗状況をチェックする。審議会はチェックし評価して市にフィードバックする重要な役割があるため、改めて認識していただきたい。

(委員) 空き家についてはきちんと対策できれば活用できる事だと思う。若い方が一人で住む家を探した時に物件がないため飯塚に流れていく。物件を建てるのも大屋さんのリスクがあるためなかなか建たないのもわかるが、一人暮らしをしやすい物件があった方が流失を防げるのではないか。

(会長) 答申の中に入れ込みづらい。関係するところはあるか。

(委員) 流出の原因は働く場所も需要だが、住みたいと思うかというところ。実家を出たいと思う年頃の人たちは魅力のあるところに出ていく。

(会長) 答申に入れづらいが工夫してどのようにいれるか検討する。

(委員) 実行するにはある程度の努力がいると思う。いい方向に向かっていくかは成果の評価を厳しくするように考えたら良いのではないか。評価に向かっていくと実行が伴いやすい目標になる。評価のしかたに一工夫いるのではないか。

(会長) 本当の目的を評価できるような成果指標をいかに設定するか。次回の計画を策定する時にSWOT分析とは別に検討しなければいけない事だと思う。

今日いただいた意見は、

- ・ ITに関しては環境整備だけでなく使いかたの研修が必要
- ・ いかに実行するか
- ・ 空き家活用のルール作り
- ・ 一人暮らしや若い方向けの物件作り

を答申の中に入れ込めるかを検討させてほしい。場合によっては積み残しにして次期計画の中に入れられるかもしれない。特にいかに実行することが重要かということに関しては市長にお渡しするときに口頭で念を押す。

(事務局) 答申について、4月に市長選挙があるため3月中に行うように考えている。日程は3月30日。

(会長) その時のメンバーは？

(事務局) 会長、副会長にお願いしたい。11時からの予定である。

(会長) 今日いただいた意見を会長・副会長・事務局で修正をして、委員の方のご了解を得たい。大きな変更はない。答申の中に書き込めなかった分は次期の計画に反映できるように努めたい。事務局とすり合わせをして最終答申を作る。

答申：令和4年3月30日（水） 11：00